

灘中校長室だより 令和8年5月27日

みんな元気Da

TEL: 0827-32-0211 Fax: 0827-32-0214

E-mail: nada-j@iwakuni.ed.jp

～地域を愛し、地域からも愛される、活力と感謝のあふれる学校～



校長 河村 泉

校舎を吹き抜ける薫風、木々のざわめきが何とも心地よく、爽やかな気分させてくれます。皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月は3年生の修学旅行、2年生の広島研修、1年生の自然教室など、主要な学年行事が行われました。当然のことながら、いずれも学校の教育活動の一環ですので、単なるイベントや思い出づくりではなく、生徒にはそれぞれの目的を意識して活動するよう指導にあたってまいりました。各学年に共通した目的は、以下のとおりです。

- 自らが課題を設定し、主体的・対話的に解決を図る意欲と態度を培う。
- 集団行動を通して、自律心や協調性、思いやりの心情などを高め、学年や学級の絆を深める。
- 規範意識や礼儀・マナーなどの社会性を高める。

これらは、いずれ社会へと羽ばたいていく子どもたちにとって、欠かすことのできない資質・能力であり、意図的・計画的に教育課程に位置づけ、その育成をめざしています。生徒は、当日はもちろん、事前・事後学習においても生き生きと活動することができ、どの学年も概ねこれらの目的を達成できたのではないかと感じています。また、私が、各学年の生徒に共通して話をしたこと…それは、「感謝の心」です。校外学習が実施できることは決して当たり前ではなく、「有ることが難しい＝有難い」ことです。改めて、さまざまな方への感謝の思いをもつ生徒であってほしいと思っています。これからも、折に触れ、その大切さを伝え続けてまいります。

さて、去る23日(土)、灘小学校の運動会を参観させていただきました。

まず、走ることが好き・不得手に関わらず、どの子も、ゴールをめざして一生懸命走り切る姿に感動しました。次に、低・中・高学年の各団体競技において、皆で力を合わせ、心から楽しんで取り組む様子に感動。特に、高学年の綱引きに賭ける気迫はすごかった！また、休む暇なく、各競技に大声を出してエールを送る応援団の児童も素晴らしい！そして、一番心を打たれたのが、閉会式で6年生の代表児童が行った挨拶です。後で聞いた話によると、その子は運営委員会のメンバーで、運動会当日を迎えるまで、時間をかけて諸準備にあたってきていたのだそうです。小学校最後の運動会を終えるにあたり、おそらく感極まったのでしょう…込み上げてくる涙をこらえきれず、言葉を詰まらせながらも自分の思いを語り切り、最後は、観覧いただいた方への感謝の言葉で締めくくりました。その健気な姿に、感動で胸が震えました。きっと、このように感じたのは私だけではないはずです。やはり、物事に本気で打ち込む一生懸命な姿は人の心を打つのだと、思いを強くしました。感動を与えてくれた灘小学校の児童、そして先生方に心から感謝と敬意を表します。

さらに、思いを巡らすと、そのような校風はたった数ヶ月でできるものではなく、卒業生である本校生徒が小学生の時から、いや、もっと以前から脈々と受け継がれてきたものではないでしょうか。そうであるなら、その心意気は、灘中生徒の中にしっかりと根を張っているはずです。これから迎える学校行事の数々、生徒の見せる本気の姿を、今から大いに楽しみにしておきたいと思っています。